

1月の園便り



令和3年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤由美子

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

絵本「いしになったかりゅど」

蛇の王様から“動物たちの言葉が聞こえる玉”をもらった主人公。ある日、山の動物たちの話が聞こえてきた「大変だ！山が崩れる、洪水が起こる、早く逃げよう」主人公は村人にこのことを教えて早く逃げてもらおうと思った、しかし、動物の言葉が聞こえることを他の人に言ったら、主人公は石になってしまうのだった…「洪水が来るから早く逃げよう」と村人に言っても誰一人信じてくれず、誰がそんなばかなことを？と言うばかり・・・主人公は村人を助けるために仕方なく、動物たちの言葉が聞こえるようになった一部始終を話した…そして…その話をしながら主人公は石になってしまった… この絵本を読み終わってからの子どもたちとの会話

加藤「もし私が、山が崩れるって動物たちに教えてもらったら、自分だけ逃げま～す…」

花子ちゃん「こらー！！」

他の子どもたち「だめ～～！！」

加藤「だって、私、石になるの嫌だもん」

太郎君「みんなが先生の言うこと、聞けばいいんだよ！」

子どもたち「そうだよ、そうだよ」

加藤は太郎君の言葉にハッとしました、お話の内容をしっかりとつかんでいる、すごい！

そうなのです、理由など聞かずに、逃げようと言った時に村人がすんなり聞いて、すぐに逃げてくれたら、主人公は石にならずにすんだのです・・・太郎君の言葉に考えさせられました、もし、主人公が“村人”に、ではなく、“村の子どもたち”に話をしたら、きっとすぐに信じてくれたでしょう、そして、すぐに逃げてくれたらと思うました。

大人って、余計なものがいっぱい心に詰まっているから、普通の人の話は信じなくて、どこかの誰が言ったのか？いつどんなふうに言ったのか、しかも言ったのは、信ずるに値する偉い人なのかと知りたがる、そしてそれが偉い人・高名な人・権威のある人であったら、“信じる”なのでしょう、大人って・・・ね。

現代にも通じる内容のこの絵本は、モンゴルの民話です。昔からずっと語り継がれてきたお話は学ぶことが多くあります。昔から語り継がれているお話は、単なる面白いお話として通り過ぎるような内容ではないのです。子どもたちの言葉を聞いていると、この物語の奥底までしっかりと学んでいることが分かります。子どもたちが、人の地位・名誉・肩書等に振り回されない人間・真実を見抜ける人間として育ててほしいと切に願っています。

1月の予定

日	曜	給食	降園時間	行事
8	金	×	11:30	第3学期始業式です。
9	土			
10	日	/	/	
11	月	/	/	成人の日
12	火		11:30	お餅つきの会。お箸・お餅を入れる入れ物等お持ちください お父さんの会の皆様・役員の皆様がお手伝いいただきます
13	水	○	2:30	給食が始まります。
14	木	○	2:30	
15	金	○	2:30	
16	土			
17	日	/	/	
18	月	○	2:30	
19	火	○	2:30	お父さんの会の方が子どもたちにコマ回しのお手本を見せていただきます。
20	水	×	11:30	誕生会。1月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いいたしましょう
21	木	○	2:30	
22	金	○	2:30	
23	土			
24	日	/	/	
25	月	○	2:30	
26	火	○	2:30	
27	水	○	2:30	
28	木	○	2:30	
29	金	○	2:30	
30	土			
31	日	/	/	

